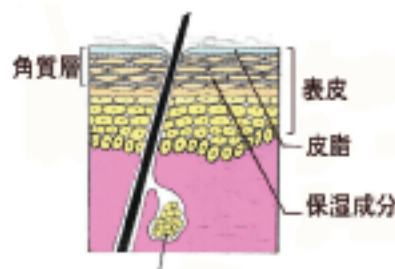


スキンケア



乳幼児の皮膚は薄く、皮脂分泌などの機能も未熟なため、簡単に湿疹・あせも・乾燥肌などのトラブルを起こします。皮膚を健康な状態に保つための方法をスキンケアといいます。



湿疹などの異常があると、皮膚のバリア機能が損なわれ、ますます悪化しやすくなります。



① よごれを落とす。

よごれは皮脂膜（皮膚の油分）にあるので、石けんで洗えばこすらなくても落ちます。洗うときにはガーゼやスポンジでこすらず、よく泡立てて、手でやさしく洗いましょう。こするとやすい皮膚を痛めます。

② 保湿する。

入浴後、皮膚がしっとりしているうちにベビークリーム・スキンケア剤などの保湿剤を塗ります。（小児は皮脂が少ない上に、入浴中に皮膚の保湿成分がお湯に出て行き、そのままでは入浴前より乾燥しやすくなります。）

乾燥肌がひどいときは、汚れやすい所以外は、石けんの使用をひかえたり、脱脂力の弱い石けんに代えたりします。

一方、新生児は母親の女性ホルモンの影響が残っているために、大人並みに皮脂の分泌があります。沐浴剤で流すだけにしていると、にきびのような湿疹や黄色いこわこわした湿疹（脂漏性湿疹）ができることがあります。

生後3ヶ月くらいまでは、毎日、お顔も石けんで洗いましょう。汗をたくさんかいたら、洗い流してあげましょう。



ハピネス こども クリニック

お問い合わせは…

087-848-9178

